

2004年3月3日

主催 (財) ミズノスポーツ振興会

共催 (財) 日本体育協会

(財) 日本オリンピック委員会

“2003年度 ミズノ スポーツメントール賞” 受賞者決定

(財) ミズノスポーツ振興会では、(財) 日本体育協会、(財) 日本オリンピック委員会と共催で、1990年度より「ミズノ スポーツメントール賞」を制定しています。この賞は、我が国の競技スポーツおよび地域スポーツにおいて選手の強化・育成ならびに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰するとともに、優秀な指導者の育成を目的に制定したものです。

3月3日、高輪プリンスホテルで2003年度選考委員会を開き、受賞者を以下の通り決定いたしました。

【ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド】 (トロフィー、副賞200万円)

高野 進氏 (東海大学陸上競技部短距離コーチ)

【ミズノ スポーツメントール賞 シルバー】 (トロフィー、副賞各50万円)

木名瀬 重夫氏 (日本レスリング協会女子コーチ)

大迫 明伸氏 (全日本柔道連盟強化委員会委員)

菊川 久美子氏 (島根県ソフトボール協会常任理事)

【ミズノ スポーツメントール賞】 (トロフィー、副賞各20万円)

大林 邦彦氏 (日本ボート協会ナショナルコーチ)

城田 憲子氏 (日本スケート連盟フィギュア強化部長)

高橋 俊博氏 (静岡県ボウリング連盟理事長)

衣斐 洋一氏 (名古屋市ボート協会事務局長)

赤川 行男氏 (京都府スポーツ少年団副本部長)

河村 文人氏 (山口県スポーツ指導者協議会会長)

長野 芳幸氏 (鹿児島県体協理事及びスポーツドクター協議会会長)

詳細は別記の通りです。

(お問合せ先)

(財) ミズノスポーツ振興会 事務局

内橋

TEL. 03 (3233) 7009

ミズノ 東京 広報課

小西・大澤

TEL. 03 (3233) 7037

ミズノ 大阪 広報課

高橋・土師

TEL. 06 (6614) 8373

記

名 称 : 2003年度 ミズノ スポーツメントール賞

目的及び
選考基準 : 過去継続して我が国における優秀選手の育成に務めた指導者およびその周辺の
指導者、ならびに長年にわたり継続して地域スポーツの振興に尽力した指導者の
顕彰

選考委員 : 委員長 竹田 恆和 氏 ((財)日本オリンピック委員会会長)
委員 長沼 健 氏 ((財)日本体育協会副会長)
" 泉 正文 氏 ((財)日本体育協会常務理事)
" 日比野 弘 氏 ((財)日本体育協会常務理事)
" 福田 富昭 氏 ((財)日本オリンピック委員会常務理事)
" 田中 英寿 氏 ((財)日本オリンピック委員会理事)
" 水野 正人 氏 ((財)ミズノスポーツ振興会会長 ミズノ社長)
※順不同

対象者 : 国内外を問わず我が国の競技スポーツの指導者および地域スポーツの指導者

受賞者及び
選考理由 : 高野 進 (たかの すすむ) 氏

(東海大学陸上競技部短距離コーチ) 42歳

現役中は短距離のトップランナーのひとりとして活躍、バルセロナオリンピック男子400m入賞など優秀な成績を収めている。競技生活終了後は東海大学陸上競技部の指導にあたり、同部を国内トップクラスに導くとともに、シドニーオリンピック、セビリア世界選手権大会に出場した伊東浩司選手、シドニーオリンピック、パリ世界選手権大会の末續慎吾選手、パリ世界選手権大会の宮崎久選手、山口有希選手など数多くの優秀な短距離ランナーを育成している。

特に、末續選手は2003年8月のパリ世界選手権大会男子200mにおいて我が国初の銅メダルを獲得。オリンピック、世界選手権を通じて短距離種目初の快挙は、選手本人の努力、周囲のサポートはさることながら、その卓越した指導によりもたらされたものといえ、その熱意と創意に満ちた指導力は高く評価されている。

※指導している主な選手・チーム

末續慎吾 '03パリ世界選手権 男子200m 3位
宮崎 久 '03パリ世界選手権 男子4×100mリレー 7位
山口有希 '03パリ世界選手権 男子4×400mリレー 8位
伊東浩司 '98バンコクアジア大会 男子100m 200m 400m 1位
'00シドニーオリンピック 100m 200m 準決勝出場

木名瀬 重夫 (きなせ しげお) 氏

(日本レスリング協会女子コーチ) 42歳

全日本女子レスリング連盟設立と同時に、強化コーチに就任、日本初の女子レスリング教室を開催、指導者として女子レスリングの普及、発展に尽力するとともに強化体制を組織し競技力向上に尽力した。その後女子レスリング専属の代々木クラブを開設し、選手の強化育成に心血を注ぎ、数多くのトップアスリートを輩出している。特に、

同クラブ所属の吉村祥子選手のコーチとして世界選手権金メダル獲得には大きく貢献している。また現在はJOC専任コーチとして女子全日本チームの選手強化に携わり、2003年世界選手権では、7階級中5階級で金メダルを獲得、その卓越した指導力は高く評価されている。本年開催のアテネオリンピック女子レスリングの中心的指導者として金メダル獲得が大いに期待されている。

※指導している主な選手・チーム

吉村 祥子 '89, '90, '93, '95 世界女子レスリング選手権大会 48kg級 1位
全日本女子チーム '03 世界女子レスリング選手権 団体 1位
伊調 千春 '03 世界女子レスリング選手権 51kg級 1位
吉田沙保里 '03 世界女子レスリング選手権 55kg級 1位
山本 聖子 '03 世界女子レスリング選手権 59kg級 1位
伊調 馨 '03 世界女子レスリング選手権 63kg級 1位
浜口 京子 '03 世界女子レスリング選手権 72kg級 1位

大迫 明伸（おおさこ あきのぶ）氏

（全日本柔道連盟強化委員会委員）43歳

オリンピック及び世界選手権大会において、日本柔道界がひとつでも多くの金メダルを獲得するため、専任コーチとして強化育成に従事。持ち前の明るさと、真摯な指導姿勢により、選手の可能性と意欲を十二分に引き出すとともに、自らの選手体験の反省にとどまらず、他競技や異なる分野での失敗から学ぶ「教訓」を指導にも生かしている。

特に、'03世界選手権においては男子90kg級、100kg級の担当コーチとして選手の指導に携わり、100kg級に出場した井上康生選手の世界選手権3連覇に大きく貢献している。

※指導している主な選手・チーム

井上康生 '03 世界選手権 100kg級 1位
中村佳央 '96 アトランタオリンピック 95kg級 7位
中村兼三 '96 アトランタオリンピック 71kg級 1位
中村行成 '96 アトランタオリンピック 65kg級 2位
篠原信一 '00 シドニーオリンピック 100kg 超級 2位

菊川 久美子（きくかわ くみこ）氏

（島根県ソフトボール協会常任理事）44歳

島根県中学校教員として教鞭をとる傍ら、ソフトボールの選手として活躍し、島根県開催の「くにびき国体」で準優勝を果たした。その後、ソフトボールのできる島根三洋工業に入社、同社女子ソフトボール部監督を務め現在に至るまで国体出場10回を重ね、5位入賞、3位入賞など得点獲得に大きく貢献するとともに、日本ソフトボールリーグ2部で全日本実業団ソフトボール選手権大会3連覇など輝かしい実績を残し、島根県ソフトボール競技の普及・振興に貢献している。

地域においては、小・中・高校ソフトボール部員を始め地元のスポーツ少年団などジュニア層へのソフトボールの指導を通して青少年健全育成に尽力した。毎年3月西日本各地の高校チームを集め「ソフトボール教育リーグ」を開催、自ら運営、指導しソフトボール競技の底辺拡充、競技力向上、チーム育成に永年にわたり熱心に取り組んでいる。また、島根県ソフトボール協会においても、常任理事、技術委員として活躍し、日本ソフトボール協会からも高い評価を受けている。

大林 邦彦（おおばやし くにひこ）氏

（日本ボート協会ナショナルコーチ） 41歳

マツダ及び日大での指導力が認められ、平成9年に日本ボート協会ナショナルチームコーチに就任、主任強化コーチとしてスカル指導を担当し、世界選手権・ワールドカップ等において入賞に導いている。また、武田・浦組を'03ワールドカップ第3戦男子軽量級ダブルスカル2位、世界選手権大会同種目9位に導きアテネオリンピックの出場資格を獲得させる等、アテネオリンピックでのメダル獲得に向けて必要不可欠な指導者として活躍が期待されている。また中・高校生などのボート初心者の指導や指導者講習会などにも参加しその役割を果たしている等、普及活動にも積極的に取り組んでいる。

※指導している主な選手・チーム

武田大作・長谷 等・三本和明・久保武大

'00 世界選手権大会男子軽量級クオドルプルスカル 1位

武田大作・長谷 等 '00 シドニーオリンピック男子軽量級ダブルスカル 6位

武田大作・浦 和重 '02 釜山アジア大会男子軽量級ダブルスカル 1位

武田大作・浦 和重 '03 ワールドカップ第3戦男子軽量級ダブルスカル 2位

武田大作・浦 和重 '03 世界選手権男子軽量級ダブルスカル 9位

城田 憲子（しろた のりこ）氏

（日本スケート連盟フィギュア強化部長） 57歳

国際審判員の資格を持ち、ルールに精通し演技の評価基準を熟知しているため、これらの知識を生かした強化育成方針が、選手、コーチから絶大なる信頼を得ている。またタレント発掘事業や有能外国人コーチによる指導などの環境作りに奔走するとともに、選手個々に適したコーチ選びの助言にも積極的に努めている。その結果、2003年世界選手権では本田武史選手の男子シングル3位、村主章枝選手の女子シングル3位入賞に貢献する等、数多くのフィギュアスケーターの活躍を支えている。その熱心な活動により、日本フィギュアチームの層は厚くなり、国際的にも日本選手の活躍が高く評価されている。

※指導している主な選手・チーム

本田武史 '03 世界選手権フィギュア男子シングル 3位

'03 青森アジア冬季大会 1位

村主章枝 '03 世界選手権フィギュア女子シングル 3位

荒川静香 '03 青森アジア冬季大会 1位

太田由希奈 '03 世界ジュニアフィギュアスケート選手権女子シングル 1位

高橋 俊博（たかはし としひろ）氏

（静岡県ボウリング連盟理事長） 64歳

自らボウリング選手として国民体育大会、日本選抜選手権大会、全日本ナショナルメンバーとしてアジア選手権、アジア競技大会で好成績を収めた。また、静岡県ボウリング連盟強化部長、公認コーチ有資格者等として、毎週ジュニアからシニアに至るまで県内の選手を集め、講習会や練習会を実施するなど、高い技術に裏付けられた指導性を持って競技力の向上、若手選手の発掘・育成に努めた。その結果静岡県のボウリ

ング競技レベルを全国の強豪県にまで引き上げ、特に昨年地元開催の第58回国民体育大会の競技運営に当り、成功裡に導くとともにボウリング競技を男女総合及び女子総合優勝を果たすなど、その選手強化の成果が高く評価されている。

衣斐 洋一 (いび ひろかず) 氏

(名古屋市ボート協会事務局長) 55歳

庄内川クラブを創設し、永年指導者として、ボート愛好者、選手の育成に尽力するとともに、ボートを身近なスポーツになるよう地域のボート競技の拠点となっている名古屋港漕艇センターの開設や、設備の整備を図り、名古屋市を中心として愛知県のボート競技の普及と発展に貢献した。長年開催している年20回に及ぶ市民ボート教室は、一般市民への普及活動として成功し、また一般レベルの参加者が目標にできる市民スポーツ祭(ボートの部)やなごやレガッタの運営にあたり地域の大きな大会として発展させた。普及活動に加え、名古屋市体育協会との連携のもと高校、大学を対象にジュニア強化事業にも着手し、中央からナショナルコーチを招くとともに、救命講習会も開催、また、高校、大学、社会人クラブの基礎体力向上のための大会、審判養成事業も実施し、選手育成から安全の確保まで広く中心的役割をになっている。

赤川 行男 (あかがわ いくお) 氏

(京都府スポーツ少年団副本部長) 65歳

早くからサッカーをはじめとする少年スポーツの大切さに着目し、京都府のスポーツ少年団活動の先駆者的存在として指導に携わり、スポーツ少年団の育成・発展、青少年の健全育成に尽力し、後進の模範となっている。単位団の指導者として、八幡市スポーツ少年団の設立に深く関わるとともに永年京都府スポーツ少年団の要職に就き、少年スポーツ振興に指導力を発揮するとともに、八幡サッカー協会会長、八幡フットボールクラブ等地域サッカークラブの会長、代表等として地域スポーツの振興に尽力している。スポーツ少年団を中心に学校や保護者とともにスポーツフェスティバルや大運動会を企画する他、スポーツ少年団の保護者チームを主宰する等、地域スポーツ、生涯スポーツの普及・振興に貢献している。

河村 文人 (かわむら ふみと) 氏

(山口県スポーツ指導者協議会会長) 73歳

スキー愛好者の会を山口県スキー連盟として組織化し、有資格指導者の養成、スキー場の整備、事務局の充実に努め、昭和44年からジュニアスノースクールを開設し、ジュニア層の競技人口の拡大に取り組み、国民体育大会で入賞する選手や優秀な指導者を輩出した。スノースクールの開催は34回を数え、県内各地より100人もの青少年が参加するイベントとして定着し、競技普及のみならず、スキーを通じた青少年の健全育成に貢献している。山口県スポーツ指導者協議会会長として指導者の連携、組織の充実及び中国地区代表幹事として中国地区指導者協議会組織の充実に努めるなど指導者の養成や、市町村組織の拡充に尽力するとともにレクリエーション活動の普及・振興にも尽力した。

長野 芳幸（ながの よしゆき）氏

（鹿児島県体協理事及びスポーツドクター協議会会長）71歳

早くからスポーツ活動に対する医・科学サポートの必要性を説き、永年全国身体障害者スポーツ大会鹿児島県選手団のチームドクターや、国体選手の医科学サポート、国体鹿児島県選手団帯同ドクター等として障害者スポーツから競技スポーツまで参画し、大会運営に尽力している。また、県総合体育センター相談医として地域住民の様々なスポーツ障害の相談に応じるなど地域におけるスポーツ振興にも大きく貢献した。また、鹿児島県体協スポーツドクター協議会設立後は、会長としての組織的活動や、若手ドクターの指導者としてリーダーシップを発揮し、県内スポーツの振興に当たっている。さらに、鹿児島県水泳連盟役員、日本水泳連盟医科学委員会医事部委員、ドクター会議会長として、鹿児島県のみならず日本水泳競技における医科学面でのサポートを通じ、水泳競技の発展に尽力している。

以上